

# 超高精細度テレビジョン(4K・8K)実用放送業務の認定について

平成29年 2月14日  
日本放送協会

# 4K・8K実用放送の業務認定

- 昨年秋に募集を行った4K・8K実用放送の実施を希望する放送事業者について、1月11日の電波監理審議会に諮問され、1月24日に総務大臣から認定証が交付された。

## (BS右旋)

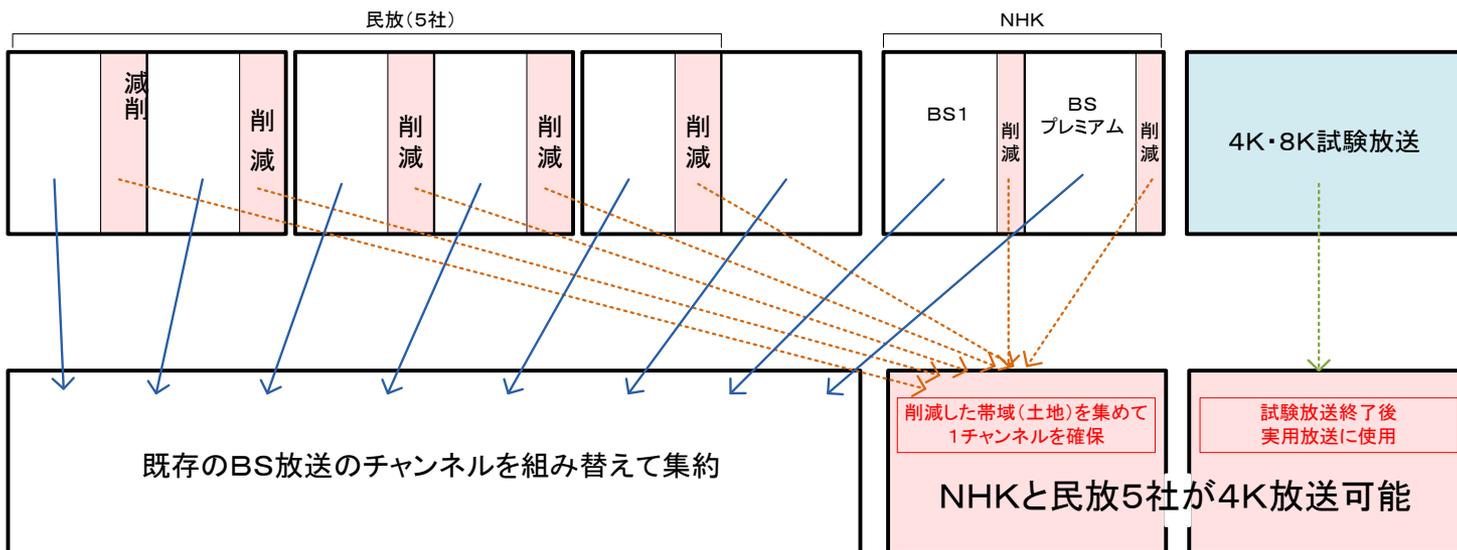
認定事業者		開局予定日
<u>NHK</u>	<u>4K</u>	<u>2018年12月1日</u>
BS日テレ	4K	2019年12月1日
BSTBS	4K	2018年12月1日
BSフジ	4K	2018年12月1日
BS朝日	4K	2018年12月1日
BSジャパン	4K	2018年12月1日

## (BS左旋)

認定事業者		開局予定日
<u>NHK</u>	<u>8K</u>	<u>2018年12月1日</u>
東北新社	4K	2018年12月1日
SCサテライト	4K	2018年12月1日
QVC	4K	2018年12月31日
WOWOW	4K	2020年12月1日

# BS右旋の帯域再編(幅寄せ)への対応について

- 現在のBS放送を行っている「BS右旋」でNHKと民放5社が4K放送を実施するため、各社が現行BS放送の帯域を放送サービスに影響のない範囲で供出し、4K放送を実施するための帯域を作り出す「帯域再編(幅寄せ)」を実施する。



- 今後の予定

(2017年2月) A-PAB<sup>(※)</sup>に 関係事業者からなる検討部会を設置

- ・再編手順、周知・広報、視聴者対応(コールセンターなど)の検討

(2018年1月～6月想定) 幅寄せの実施

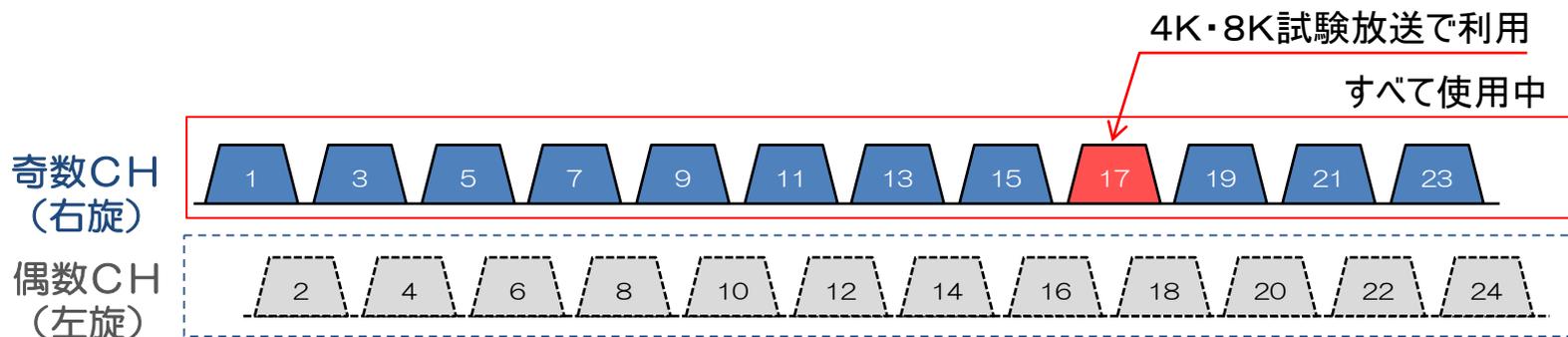
- ・各放送事業者によるチャンネルの移行

(※)一般社団法人 放送サービス高度化推進協会

# (参考)

# 「右旋」と「左旋」

- 現在のBSで利用可能なチャンネル(右旋・奇数チャンネル)は、全て使用中
- このため、4K・8K放送は、現在使われていない左旋・偶数チャンネルを利用する
- 左旋・偶数チャンネルの電波を受信するためには、BSアンテナの交換等が必要



## 「右旋」と「左旋」

隣接する奇数チャンネルと偶数チャンネルの電波の干渉を避けるため、奇数チャンネルと偶数チャンネルで電波の進み方を変えている

- ▽ 奇数チャンネル：右旋の電波
- ▽ 偶数チャンネル：左旋の電波  
(現在のBSアンテナでは受信不可)

